



## 「より質の高いものを求めて」

教頭 磯貝 美智子

新緑がまぶしく、初夏を感じさせる季節になりました。早いもので、令和8年度をスタートして1か月が経ちました。今年度から赴任してまいりました教頭の磯貝です。開校以来の教育理念「より質の高いものを求めて」に向けて、さまざまな場面で生徒、保護者、地域の方々とふれあい、ともにこの大住中学校のよき伝統を引き継ぎ、発展させていくとともに、教育活動の質を高め、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す学校づくりを進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、生徒たちは新しい環境の中で、新しい目標に向かって第一歩を踏み出しています。今年度から学校教育目標は「自ら学び 人とつながり 未来を切り拓く生徒の育成」としています。

学校では、行事・教科教育を通じて、予測不能な社会、未来を切り拓いていくために、様々な問題を主体的に解決していく能力やそれに向けて人とつながる力を育成するという視点で教育活動を進めています。それには、「私たちはどう未来を生きていくのか」ということを主体的に考えていくことが大切です。これからの学びは、答えがすぐ出るものばかりではありません。どちらかといえば、答えが出にくいものや一つではないものが多く、状況に合わせてよりよい答えを見つけていくことが必要になっていきます。

「よりよい答え」はその時々によって、最もよいとされる「最適解」、よりみんなが納得する「納得解」があります。答えが一つではないからこそ、何事にも自分事としてとらえ、じっくり考えることが求められます。また、他者の考えを取り入れることで、自分では見つけられなかった視点で考えることができます。たくさんの人と一緒によりよい答えを探し出すことが、これからの社会に必要なになっていきます。そしてこれは生徒だけでなく、我々教職員も、保護者や地域の方など今を生きる人全員に共通する考え方です。だからこそ「より質の高い」学び手となるために、次の三つを意識してみることをおすすめします。

- ① あなたが学びの主役です。そこに参加しているだけでなく、一人ひとりが学んでいることを自分事としてとらえ、問題解決に向けて自ら考え、学びを広げていきましょう。
- ② 問題は一人では解決できません。他者との関係性、社会との関係性を多面的・多角的にとらえるために、他者との「関わり」・「つながり」を大切にしましょう。
- ③ 学びは連続しています。学んだことを常に自分の身の回りのことやこれからの社会のことに結びつけて考えていきましょう。



5月は修学旅行をはじめ、各学年さまざまな行事があります。それに向けての取り組みもあります。何か問題と直面した時には、じっくりと向き合ってみてください。我々教職員も常に学ぶ姿勢を忘れず、保護者、地域の方々と連携しながら、生徒のよりよい成長をともに支えていきたいと思えます。令和8年度どうぞお支えいただくようお願いします。

教育活動の様子は学校だよりをはじめ、学校 HP にて随時更新していきますので、ぜひご覧ください。その際、「👍 いいね」ボタンを押していただくと励みになります。

学校 HP→



# 綴喜地方中学校春季体育大会結果

4月18日(土)・19日(日)・26日(日)に熱戦が繰り広げられた春季大会。どの部活動も一生懸命なプレーが光っていました。次は全国大会まで続く夏季大会に向けて頑張ってください！

## 【団体の部】

種目名	結果
野球	準優勝
サッカー	惜敗
ソフトボール	大会なし
ソフトテニス男子	優勝
ソフトテニス女子	惜敗
バスケットボール男子	惜敗
バスケットボール女子	惜敗
バレーボール男子	優勝
バレーボール女子	惜敗
卓球男子	準優勝
卓球女子	惜敗
ハンドボール男子	優勝
ハンドボール女子	優勝

## 【個人の部】

ソフトテニス  
男子個人  
第3位 松永・川村ペア  
ベスト8 前田・吉田ペア  
篠塚・陰山ペア  
篠塚・石黒ペア

バドミントン  
男子個人 シングルス  
ベスト8 下垣 海皓

卓球  
男子個人  
第3位 向井 悠貴





## 五月の行事予定

- 7日(木) 第1回前期事業委員会
- 8日(金) 3年生全国学力・学習状況調査(英語)
- 9日(土) 土曜授業 ※お弁当必要 5校時および部活動参観
- 12日(火) 教育実習開始～6月2日まで
- 13日(水) 台湾 静修中学校 来校 2年生国際理解教育
- 18日(月) 1・2年生部活動停止
- 19日(火) 3年生修学旅行～21日(木)
- 20日(水) 1・2年生中間テスト
- 21日(台湾) 康橋中学校 来校 1年生国際理解教育
- 22日(金) 9日の振替休日
- 25日(月) 2年生学びのパスポート(国・数・英・質問紙)・PTA総会(WEB)教育相談①
- 26日(火) 1年生学びのパスポート(国・数・質問紙)・教育相談②
- 27日(水) 3年生学びのパスポート(国・数・英・質問紙)
- 28日(木) 校外学習(2年生)
- 29日(金) 交流学习「大住ふしぎ発見！」(1年生) 第2回前期事業委員会



## 大住中学校の取組

### 大住授業スタンダード ～自分の頭で考える力を育もう！～

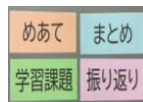


#### 授業前

- ・身のまわりの整理整頓を心がけよう
- ・授業準備を行おう ※忘れ物をした場合は、担当の先生に伝えよう
- ・ベル着を意識しよう
- ※チャイムが鳴って5分たっても、担当の先生が来ない場合は、学級委員が職員室に伝えに来よう

#### 授業中

- ・きっちりと号令を行い、メリハリをつけよう
- ・めあてを確認し、見通しをもとう
- ・自分の考えをもとう
- ・意見を発言するときは、挙手をし、みんなに聞こえる声で発表しよう
- ・班のみんなで考えるときは、机をきっちりとくっつけよう
- ・姿勢を正し、人の話に耳を傾けよう
- ・自分の考えを見直し、自分のことばでまとめよう
- ・めあてに対する、振り返りを行おう



#### 授業後

- ・家庭学習を活用し、予習や復習を行おう
- ・身のまわりや他教科との関連を考えよう



大住中学校の学校教育目標を達成するために、あらゆる教育活動において『「なぜ?やってみよう!」と思える魅力ある「めあて」と「まとめ・振り返り」のつながり』を研究テーマに授業づくりを進めていきます。全教職員が誰一人取り残さない、誰もが「わかる」授業づくりを心がける1年にしていきたいと思っています。生徒には、「学習の手引き」を使って、「大住授業スタンダード～自分の頭で考える力を育もう!～」を示しています。

小学校のように毎日決められた課題は学校から提示されません。授業の中で浮かんだ疑問を自分なりに考えていくことが大切です。そのため、自主学習ノートを生徒には勧めています。毎日コツコツ取り組むことが基礎力を定着させます。「今週のおすすめ課題」から自分にあった課題を選んで取り組んでみてください。またおすすめ課題のプリントが棚に入っていることもあります。ぜひ活用してみてください。ご家庭でも「今日何が課題だと思ったの?」とお声掛けください。

## 授業にお邪魔しました



### 研究主任

4月27日(月)4校時、3年1組の理科の授業にお邪魔しました。「化学変化とイオン」の単元で、「電解質はなぜ電流が流れるのか考えよう」というめあてでした。前回行った実験の結果の確認をしながら、電流が流れる水溶液にどんな特徴があるのかを考えていきました。食塩水は電流が流れるのに、砂糖水は流れない。でもコーラには電流が流れる。グレープフルーツジュースはどうだろう…?共通することは何か?などを紐解いていきながら、最終は「( )は(電解質 OR 非電解質)である。なぜならば…」と特徴や成分に着目して自分の言葉でまとめていました。

先生は3年6組の担任でもあります。大住中学校の研究主任として「生徒の学びがいかに深まるか、どうすれば自分の頭で考える力を育めるのか」の研究を日々深めています。中学校3年間だけでなく、小学校とも連携を進め、義務教育9年間の学びの軌跡を作ろうと奮闘しています。

### NEW FACE

### 特別支援教育主任



4月30日(木)2校時、1年5組の国語の授業にお邪魔しました。ちょうど初めての単元に入るところで、物語「はじまりの風」の第1回目の授業でした。今日のめあては「全文をいくつかの場面に分け、場面ごとに主人公の心情をとらえよう」でした。初めてノートを使う日だったようで、ノートの取り方やメモ欄の作り方など説明がありました。そのあと、生徒たちは、先生の音読を聞きながら言われたチェック項目を注意しながら探していました。中学校初めての物語です。どう読み取っていくといいのでしょうか。物語を読み解くにはいくつかのヒントを探する必要があります。単元のねらいには「場面ごとの心情の変化を図を用いて整理する」というのがありました。最終登場人物の心情の変化を読み解いて、図に表していけるように、自分で、グループで、物語に描かれている表現を探しながら読み解いていきましょう。

先生は、今年度から大住中学校に来られた先生です。大住中学校では、1年3組の担任と特別支援教育コーディネーターとして毎日奮闘しています。よく通る声だと思ったら、中学校時代は合唱部だったそうです。

### NEW FACE

### 国語科主任



4月30日(木)3校時、1年4組の国語の授業にお邪魔しました。5組と同じく物語「はじまりの風」でした。少し進んでいたようで、「主人公の心情を心情曲線を用いて整理しよう」というめあてでした。主人公の心情を読み取っていくのに、ストレートに書かれていないけど、必ず気持ちが読み取れるような証拠が描かれている、という先生のヒントに表現を文中から探していました。今回ヒントになるのはどんな表現だったのでしょうか。題名にもある「風」に着目するといいということで、「風」の表現を探してみるといろいろ見えてくるものがありました。まずは自分でしっかりと探す、そして隣の席の子と答え合わせをするという形で表現を確認していました。

先生も、今年度から大住中学校に来られた先生です。大住中学校では、1年6組の担任と国語科主任を任されています。話が上手で、授業の開始には、生徒の気持ちをひきつけるような話があり、生徒も引き込まれて笑顔で授業が始まっていました。